10月13日、淀川河川敷にイベント集結

枚方の魅力を楽しみ尽くす

10月13日に淀川河川公園枚方地区とその周辺でさまざまなイベントが開催され合わせて約6000人が参加しました。

ひらかた万博PRイベント きてね、枚方。

大阪・関西万博をきっかけに国内外から誘客を狙う取り組み「ひらかた万博」。枚方の魅力を味わう飲食ブースや枚方を感じる曲などを歌うカラオケイベントのほか、来場者は市内の盆踊りチーム・スターダスト河内と盆踊りを楽しみました。

▲盆踊りは初挑戦と話す関西外国語大学4年生のゾイ・フィリップスさん（23歳・**写真**）は「人が優しく魅力的な枚方を母国アメリカでも自慢したい」と笑顔でした。

▶カラオケイベントでは、市内外から幅広い世代が出場。会場からの大きく温かい拍手を点数に加算する司会者の粋な計らいも。

◀枚方産ホップで作ったクラフトビールなど、市内産の食材を使った飲食ブースも多数出店。

リバーテラスくらわんか

淀川堤防活用の実証実験として5回目の開催。たき火の火起こしやマウンテンバイクなどを体験しました。

みなと五六市

毎月第2日曜に枚方宿くらわんか五六市と合わせ開催。手作り品のブースのほか、キッチンカーの出店も。

淀川舟運「伏見航路」復活セレモニー

大阪と京都・伏見を結ぶ淀川の「伏見航路」が約60年ぶりに復活。高槻中学校・高等学校吹奏楽部の演奏とともに、セレモニー参加者らが旗を振って乗船者を見送りました。

まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介！

秋晴れの中の枚方まつり

2日間で約7万人の人出

枚方まつりが開かれ、約7万人の人出でにぎわいました。今年は暑さ対策のため初めての秋開催。日差しは強かったものの、さわやかな秋風が吹く中、来場者は牧野高校吹奏楽部などの音楽ステージのほか飲食ブースやゲームなどを思い思いに楽しんでいました。香里ケ丘から訪れた大野聖司さん（43歳・**下写真**）は「小さな子どもも遊べるゾーンが増えていて家族みんなで楽しめました」と笑顔でした。

はじめてのスポーツがたくさん

ひらかた市民オリンピックに延べ1294人

スポーツの日の10月14日、KTM河本工業総合体育館・たまゆら陸上競技場でスポーツ体験イベントが開かれました。競技との出会いを目的に市スポーツ協会が毎年実施。剣道やバレーボールなどの屋内種目に加え、今年からはサッカーやラグビーなど屋外種目も追加され、「上手上手!」と大人の声援を背に子どもたちは汗を流していました。市内在住の白井爽太郎さん（7歳・**左写真**）は「はじめてのスポーツがたくさんできて楽しかった」と笑顔でした。

編集後記

娘の救急搬送で「小児科医がいない」を理由に断られた経験があった他市在住の私。特集を取材する中で、小児の救急搬送に365日24時間対応する市立ひらかた病院の頼もしさや、そんな病院が近くにあることの安心感に気づきました。

編集者N